

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年4月21日 (2016.4.21)

【公開番号】特開2014-202808(P2014-202808A)

【公開日】平成26年10月27日 (2014.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-059

【出願番号】特願2013-76769(P2013-76769)

【国際特許分類】

G 1 0 L 13/10 (2013.01)

G 1 0 L 13/00 (2006.01)

G 1 0 L 13/02 (2013.01)

G 1 0 L 25/21 (2013.01)

【F I】

G 1 0 L 13/08 1 2 7 E

G 1 0 L 13/00 1 0 0 M

G 1 0 L 13/00 1 0 0 S

G 1 0 L 13/02 1 3 0 Z

G 1 0 L 11/00 1 0 1 F

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月2日 (2016.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記課題を解決するために、請求項 1 に記載の発明は、発話した入力音声を音声認識手段に出力する第 1 出力手段と、前記音声認識手段からの応答を出力する第 2 出力手段と、前記入力音声の入力音声レベル及び所定の音声レベルを比較する音声レベル比較手段と、前記音声レベル比較手段で比較した前記入力音声レベルが前記所定の音声レベルよりも小さい場合、前記応答を抑制した出力に前記第 2 出力手段を制御する制御手段と、を備えることを特徴としている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

請求項 7 に記載の発明は、発話した入力音声を音声認識手段に出力する第 1 出力手段と、前記入力音声以外の周囲音レベルを検出する周囲音レベル検出手段と、前記音声認識手段からの応答を出力する第 2 出力手段と、前記入力音声の入力音声レベルと前記周囲音レベルとの比を算出する比算出手段と、前記比算出手段で比較した前記比が前記所定の値よりも小さい場合、前記応答を抑制した出力に前記第 2 出力手段を制御する制御手段と、を備えることを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項8に記載の発明は、発話した入力音声に対して音声認識手段からの応答を出力する入出力装置における入出力方法であって、前記入力音声の入力音声レベル及び前記音声レベルと比較する音声レベル比較工程と、前記音声レベル比較工程で比較した前記入力音声レベルが前記所定の音声レベルよりも小さい場合、前記音声認識手段の応答を抑制した出力に制御する制御工程と、を含むことを特徴としている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項11に記載の発明は、発話した入力音声に対して音声認識手段からの応答を出力する入出力装置における入出力方法であって、前記入力音声の入力音声レベル及び前記入力音声以外の周囲音レベルを検出し、前記入力音声レベルと前記周囲音レベルとの比を算出する比算出工程と、前記比算出工程で比較した前記比が予め定めた所定の値よりも小さい場合、前記音声認識手段を抑制した出力に制御する制御工程と、を含むことを特徴としている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発話した入力音声を音声認識手段に出力する第1出力手段と、

前記音声認識手段からの応答を出力する第2出力手段と、

前記入力音声の入力音声レベル及び前記所定の音声レベルと比較する音声レベル比較手段と

、
前記音声レベル比較手段で比較した前記入力音声レベルが前記所定の音声レベルよりも小さい場合、前記応答を抑制した出力に前記第2出力手段を制御する制御手段と、を備えることを特徴とする入出力装置。

【請求項2】

前記第2出力手段は、前記応答を音として出力する音声出力手段を有し、

前記制御手段は、前記音声レベル比較手段が比較した結果が、前記所定の音声レベルよりも小さい場合、前記音声出力手段から出力される音を小さくすることを特徴とする請求項1に記載の入出力装置。

【請求項3】

前記第2出力手段は、前記応答を画像として表示する表示手段を更に有し、

前記制御手段は、前記音声レベル比較手段が比較した結果が、前記所定の音声レベルよりも小さい場合、前記表示手段の表示を停止させるとともに、前記音声出力手段から出力される音を小さくすることを特徴とする請求項2に記載の入出力装置。

【請求項4】

前記第2出力手段は、前記応答を音として外部音声出力手段から出力させるための出力インタフェースを更に有し、

前記制御手段は、前記音声レベル比較手段が比較した結果が、前記所定の音声レベルよりも小さい場合、前記出力インタフェースのみに前記応答を出力させることを特徴とする請求項3に記載の入出力装置。

【請求項5】

前記第 2 出力手段は、前記応答を画像として表示する表示手段を有し、

前記制御手段は、前記音声レベル比較手段が比較した結果が、前記所定の音声レベルよりも小さい場合、前記画像が周囲から認識しにくくなるように前記表示手段の表示を変化させることを特徴とする請求項 1 に記載の入出力装置。

【請求項 6】

前記第 2 出力手段は、前記応答を音として出力する音声出力手段を更に有し、

前記制御手段は、前記音声レベル比較手段が比較した結果が、前記所定の音声レベルよりも小さい場合、前記音声出力手段の出力を停止させるとともに、前記画像が周囲から認識しにくくなるように前記表示手段の表示を変化させることを特徴とする請求項 5 に記載の入出力装置。

【請求項 7】

発話した入力音声を音声認識手段に出力する第 1 出力手段と、

前記入力音声以外の周囲音レベルを検出する周囲音レベル検出手段と、

前記音声認識手段からの応答を出力する第 2 出力手段と、

前記入力音声の入力音声レベルと前記周囲音レベルとの比を算出する比算出手段と、

前記比算出手段で比較した前記比が前記所定の値よりも小さい場合、前記応答を抑制した出力に前記第 2 出力手段を制御する制御手段と、
を備えることを特徴とする入出力装置。

【請求項 8】

発話した入力音声に対して音声認識手段からの応答を出力する入出力装置における入出力方法であって、

前記入力音声の入力音声レベル及び所定の音声レベルと比較する音声レベル比較工程と、

前記音声レベル比較工程で比較した前記入力音声レベルが前記所定の音声レベルよりも小さい場合、前記音声認識手段の応答を抑制した出力に制御する制御工程と、を含むことを特徴とする入出力方法。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の入出力方法をコンピュータにより実行させることを特徴とする入出力プログラム

【請求項 10】

請求項 9 に記載の入出力プログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 11】

発話した入力音声に対して音声認識手段からの応答を出力する入出力装置における入出力方法であって、

前記入力音声の入力音声レベル及び前記入力音声以外の周囲音レベルを検出し、前記入力音声レベルと前記周囲音レベルとの比を算出する比算出工程と、

前記比算出工程で比較した前記比が予め定めた所定の値よりも小さい場合、前記音声認識手段を抑制した出力に制御する制御工程と、を含むことを特徴とする入出力方法。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の入出力方法をコンピュータにより実行させることを特徴とする入出力プログラム

【請求項 13】

請求項 12 に記載の入出力プログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。